



優秀賞 (総合部門)

タイトル

漆ハウス

タイプ

持家一戸建

講評

既存家屋とは全く異なるテイストのテーパー付き筒状のスペースを増築した。増築部を玄関とリビングとし、2階は子供室。既存家屋との境界部はサンルームとして、開放感と採光・通風を確保している。図面が分かりにくいのが難点。

リフォーム前後の写真



a.リフォーム前



b.リフォーム前



3.ダイニングキッチン
リフォーム前は車庫スペース
サンルームとの段差を利用したベンチ



1.外観
南へ筒状に向けた耐震壁を採用し、明るさと開放感を実現(新旧の融合を配慮した斬新なデザイン)



2.玄関
思い出の鋼板外壁を残した



4.接合部：リビングからダイニング方向
思い出の鋼板外壁・漆喰壁・窓を残した



5.サンルーム見下ろし
大きな天窓から自然光が降りそそぐ



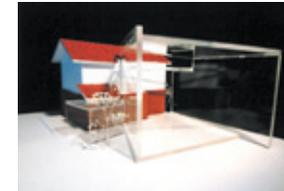
7.子供部屋
南側全面窓を採用し、明るい開放的な雰囲気



8.街並み外観
斬新かつ街並みにもとけこむデザイン



6.リビングとサンルーム
壁面いっぱいの大収納壁



コンセプト模型(正面)



コンセプト模型(見下ろし)

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

以前離れに住んでいた主人が、奥様と子供を連れて帰省するため、離れを家族4人の生活にあった空間に大改造。クライアントの要望は主に3点。

- 1. 離れと増築部分を分断しないまとまった住居にしたい
- 2. 明るく開放感のある家に住みたい
- 3. 離れの耐震性を考慮した増改築にしたい

まず、離れの採光を確保するため、離れと増築部の境界にサンルームを配置。次に、増築部の設計に関しては、敷地の東面には材木倉庫、西面にはきつい西日という敷地条件から、45度

の強靱な耐震壁を南面へ向けて筒型に設計。これは、離れと結合させることで離れの耐震性向上も兼ねている。この耐震壁とサンルームにより、各部屋（既存離れ含む）とも開放感のある明るく見晴らしの良い空間となっている。また、思い出に残る離れの既存外壁（鋼板・漆喰壁・窓）を増築部の内装としてそのまま残し、その思い出をリビングのインテリアとした。主人はもちろん家族全員が明るく暖かい家になって喜んでるそうです。

特に配慮した住宅性能： 離れ(既存家屋)の耐震性向上、結合部に面する離れの日照確保、自然光・自然通風の確保、断熱性向上、環境配慮 (オール電化住宅：蓄熱式床暖房採用)

データ

所在地	島根県邑智郡邑南町	構造/築後年数	在来木造/42年
該当工事面積	150.45 m ² /総工事床面積 150.45 m ²	該当部分工事費	1,580 万円/総工事費 1,580 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2人/65歳以上： 2人	15歳未満： 2人/ペット：	
設計者	(株)y+M design office	担当者	三宅 正浩
施工者	坂根住宅	担当者	坂根 俊昭

リフォーム前

リフォーム後

